

固定資産税課

住宅耐震改修にともなう 固定資産税の減額措置

既存の住宅を耐震改修した場合、次の2つの要件を満たす家屋は税額が軽減されます。

1 対象となる家屋

- ・昭和57年1月1日以前に建てられた住宅

2 耐震改修の要件

- ・現行の耐震基準に適合する耐震改修であること
- ・耐震改修の費用が30万円以上であること

減額となる税額は

対象となる改修家屋全体に係る固定資産税額の2分の1を減額します(減額の対象となる面積は1戸当たり120㎡相当分まで)。

減額する期間は

改修した年	減額期間
平成18年～21年まで	3年間
平成22年～24年まで	2年間
平成25年～27年まで	1年間

例えば、平成18年中に改修工事をした場合、平成19年度～21年度分の固定資産税が減額されます。

手続きは

固定資産税課に配置している申告書に必要事項を記入のうえ、当該耐震改修に要した費用を証する書類および耐震基準適合証明書()を添付して、耐震改修の完了後3月以内に申告してください。

耐震基準適合証明書の発行については、市役所本庁舎1階建築指導課 ☎0857)20・3282 にご相談ください。

収税課

市税は納期限までに納めましょう！

市税の納期限は次のとおりです。

軽自動車税	全期	5月31日		
固定資産税 都市計画税	1期	2期	3期	4期
	5月31日	7月31日	12月28日	2月28日
	1期	2期	3期	4期
	6月30日	8月31日	10月31日	1月31日

納期限を過ぎると延滞金がかかるほか、督促状が送付され、財産の差し押さえなどを受ける場合があります。

問い合わせ先 市役所駅南庁舎収税課 ☎0857)20・3431

新築住宅に対する固定資産税の 軽減措置の期間が終了する家屋

新築住宅は、用途・床面積など一定の要件をみたすとき、固定資産税が2分の1に減額されますが、平成18年度課税分から次の住宅は、期間の終了により減額措置の適用が受けられなくなります。

区分	期間	今年度から軽減措置適用外となる家屋
一般の住宅 (下記以外の住宅)	新築後 3年度分	H14年1月2日からH15年1月1日の間に新築した住宅
3階建以上の 中高層耐火住宅等	新築後 5年度分	H12年1月2日からH13年1月1日の間に新築した住宅

家屋の税額が高くなったと思われるときは、課税明細書で建築年をご確認ください。

固定資産税・都市計画税の納税通知書

固定資産税・都市計画税の納税通知書は、5月15日に一斉に郵送します。5月31日が第1期の納期限ですので、お忘れにならないようお願いします。

問い合わせ先 市役所駅南庁舎固定資産税課 ☎0857)20・3421

市民税課

軽自動車税の減免手続き

次の2つの要件を満たす軽自動車は税が減免されます。

対象要件

身体・精神などに障害のある人のために使用するもの
障害のある人または、同居の家族などが所有するもの
ただし、1台まで

受付期間 5月17日(水)～24日(水)

必要書類

身体障害者手帳・戦傷病者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳(通院医療費の公費負担番号が記載されているもの)のうち該当する手帳 運転免許証(対象車を運転する人)
自動車検査証 軽自動車税納税通知書 常時介護証明書(運転する人が同居の家族など以外の場合)

障害の部位や程度などにより、減免が受けられない場合があります。

問い合わせ先 市役所駅南庁舎市民税課 ☎0857)20・3413
各総合支所市民生活課(16ページ上段参照)

問い合わせ先 各課/各金融機関

利用できる金融機関など
鳥取銀行・山陰合同銀行・鳥取いは農業協同組合・鳥取信用金庫・みずほ銀行・鳥根銀行・倉吉信用金庫・中国労働金庫・中央三井信託銀行・郵便局の全国の本支店(局)および商工組合中央金庫鳥取支店・鳥取県信用漁業協同組合連合会本店

種類	担当課	電話番号
市県民税(普通徴収)	収税課	(0857)20-3433
固定資産税(都市計画税)		
軽自動車税		
国民健康保険料	保険年金課	(0857)20-3483
保育料	児童家庭課	(0857)20-3464
児童館使用料		(0857)20-3462
市営住宅家賃	建築住宅課	(0857)20-3291
県営住宅家賃・駐車場使用料		
し尿処理手数料	生活環境課	(0857)20-3217
下水道使用料	下水道計画課	(0857)20-3302
集落排水施設使用料		
介護保険料	高齢社会課	(0857)20-3452
簡易水道使用料	農村整備課	(0857)20-3246
幼稚園授業料	学校教育課	(0857)20-3088

市民のみなさんからの質問にお答えします
税金などを納める場合、口座振替ができると聞きましたか? 口座振替での税金などの納入は納め忘れの心配がなく、金融機関に行く手間と時間も省けても便利です。口座振替ができる主なものは次のとおりです。